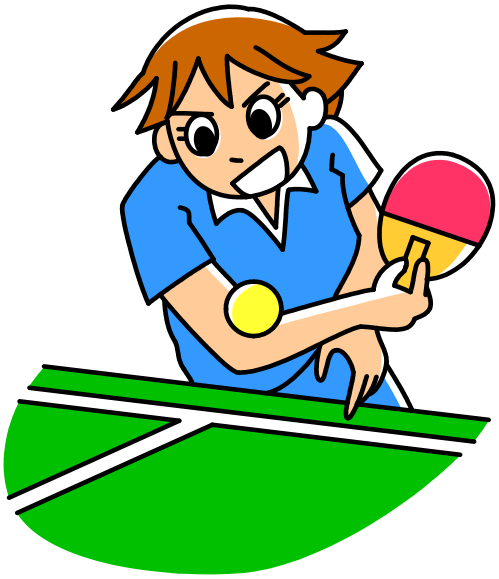
第６８回　滋賀県高等学校定時制・通信制
春季総合体育大会

卓　球



日　時：　2025年6月14日（土）

場　所：　滋賀県立大津清陵高等学校体育館

会場準備	8：30～
役員打ち合せ会	8：50～
開会式	9：00～
競技スタート	9：10～

１．競技役員

部長	小林　重和（能登川）		
競技委員長	小関　勝久（清陵・通）		
審判長	難波 淳（清陵・昼）		
進行係	難波 淳（清陵・昼）	池松　和彦（清陵・昼）	浅田　学(清陵・昼)
	石塚　久美（清陵・夜）	和田　正弘（清陵・通）	疋田 貴彦（綾羽・通）
	新村　美幸（清陵・通）	芝田　裕子(清陵・通)	
広報・連絡係	小関　勝久（清陵・通）		
会場主任	和田　正弘（清陵・通）		
救護係	植木　哲子（清陵・通）		
司会	小関　勝久（清陵・通）		

２．競技上の注意

① 本大会のルールは、現行日本卓球協会の規則に準ずる。
② 試合は男女団体戦、個人戦とも１１点５ゲームマッチとする。
③ 男女団体戦は、１チーム３～６名による４シングルス１ダブルス（ＡＢ・ＰＱ方式）の３点先取方式とする。
④ 男女団体戦において、どちらかのチームが初戦の場合は５番まで行うことができる。
⑤ コールされたら、選手は速やかに所定のコートにつくこと。遅い場合は棄権と見なす。
⑥ 審判は、原則的には対戦校同士の相互審判で行うが、無理な部分は顧問が審判にあたる。
⑦ 選手は背中に氏名、高校名が明記されたゼッケン（ 20 cm × 25 cm ）をつけること、また服装・シューズについては競技にふさわしいものを着用すること。
⑧ 選手変更は、打ち合せ会までに申し出て、承認を受けること。
⑨ サーブトスは、１６ cm 以上投げ上げること。
⑩ ラケットの裏表を明確に色分けすること。
⑪ 試合では、本部が用意したプラスチック球を使用する。

※ 本大会は全国高等学校定時制通信制卓球大会の選考会を兼ねる。
代表（男女団体各１校、個人男女各４名）は、本大会の成績等を考慮して顧問会議で決定するものとする。

３．会場係より

（1）会場内での食事、喫煙、土足は厳禁とする。（ただし、水分補給は十分行うこと。）
（2）昼食時間は特に設けないので、各自が試合の進行に注意しながら済ませること。
（3）トイレについては、体育館から直近の校舎トイレを使用するが、それ以外は校舎内立ち入り禁止とする。
（4）最後に全員で後片付けをするので、試合が終わっても最後まで残ること。

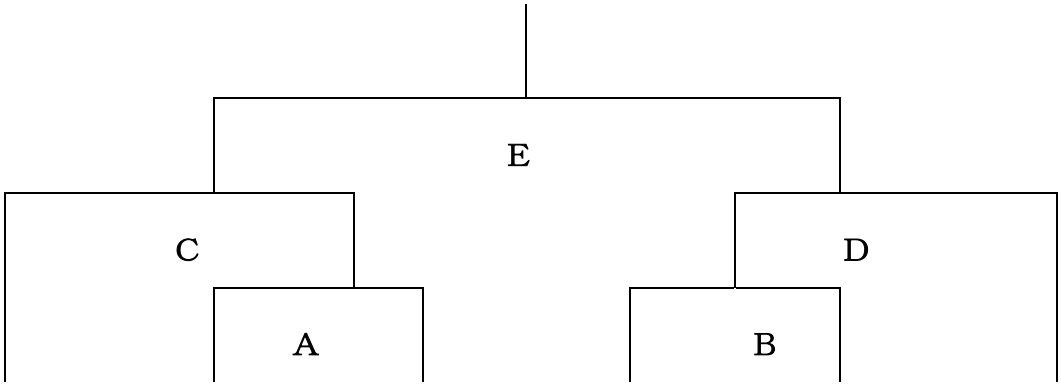
４．開閉会式

・開会通告
・競技場の注意
・会場使用注意
・諸連絡
・閉会通告
・表彰

【男子団体】　大津清陵高校昼間部

【女子団体】　該当チームなし

【男子個人】



① 郷田(綾羽・定)　② 野島(清陵・昼)　③ 寺田(清陵・昼)　④ 王(清陵・夜)　⑤池田(清陵・昼)　⑥ 岡村（清陵・夜)

順位決定戦

・Ｅの勝者が１位、Ｅの敗者が２位

・①⑥がＥに進んだ場合、Ａ・Ｂの勝者で３位４位決定戦を行う。※X

　Ａ・Ｂの敗者で５位６位決定戦を行う※Y

・Ａ・Ｂの勝者がＥに進んだ場合、残りの４人でトーナメントを行う。（配置は抽選）※Z

・①と、④⑤のどちらかがＥに進んだ場合、Ａの勝者が３位となる。もしくは、

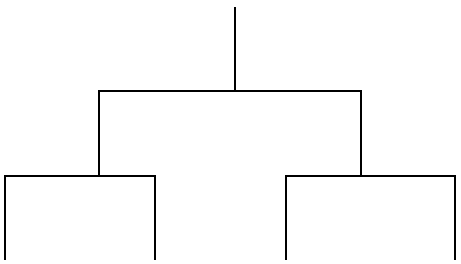
　⑥と、②③のどちらかがＥに進んだ場合、Ｂの勝者が３位となる。

　残りの３人でリーグ戦を行い４位５位６位を決定する。

１位：　　２位：　　３位：　　４位：

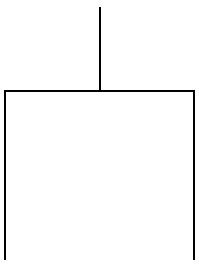
順位決定戦トーナメント

Z



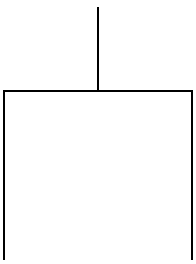
1（　　）2（　　）3（　　）4（　　）

X



1（　　）2（　　）

Y



1（　　）2（　　）

順位決定戦リーグ

	1	2	3	勝	負	順位
1　　（　　）						
2　　（　　）						
3　　（　　）						

【女子個人】

アポロ　ルアナ

大津清陵高校　昼間部			
男子			
監督　難波　淳		学年	個人戦No
主将　寺田（テラダ）　翔穂（カケル）			③
池田（イケダ）　正樹（マサキ）			⑤
野島（ノジマ）　博文（ヒロフミ）			②

大津清陵高校　夜間部		
男子		
監督　石塚　久美	学年	個人戦No
主将　岡村（オカムラ）　悠斗（ヒサト）	4	⑥
王（ワン）　澤浩（ゼハオ）	4	④

大津清陵高校　昼間部		
女子		
監督　難波　淳	学年	個人戦No
主将 アポロ ルアナ		

綾羽高校　定時制		
男子		
監督　疋田　貴彦	学年	個人戦No
主将　郷田（ゴウダ）　琉生（ルキ）	1	①